

大阪損保革新懇ニュース

大阪損保革新懇事務局
 大阪市中央区道修町3-3-10
 大阪屋道修町ビル3F
 06-6232-1095

ゆすはら
梶原

自然エネルギーで自活する町 バス・ツアーに26名参加

8月24日（土）から26日（月）にかけて、大阪損保革新懇主催「エコのまち、高知・梶原（ゆすはら）」バスツアーを実施しました。

昨年の革新懇総会での伊藤千尋さんの記念講演「なくそう原発・今こそ自然エネルギーへの転換を！」に感動し、自然エネルギーに取り組む梶原町の見学を！と企画したものです。

梶原町は、高知県の北西部に位置する四国カルストに抱かれた自然豊かな山間の町で、四万十川の源流、人口は3800人余りです。幕末に坂本龍馬たちが土佐から伊予（愛媛県）に脱藩した、いわゆる脱藩ルートにもあたります。

地理的条件を生かした自然エネルギー政策で、日本のエネルギー自給の先駆的役割を果たしています。

風力、太陽光、小水力、バイオマス、地熱発電で得た電気を四国電力に売った収益は次第に増え、年間4000万円が町の収入となっています。赤字だった町の財政も、1997年から取り組んだこのエネルギー政策により黒字に転換したとのこと。

大阪からの23名（損保22名、銀行1名）に、現地合流の愛媛金融革新懇3名を加え、総勢26名が参加しました。大阪は前日まで猛暑日が17日間続いていましたが、出発日からあいにくの雨となりました。途中、徳島・脇町の「うだつの町並み」を散策し、木の温もりを感じる梶原・雲の上のホテルに到着しました。



落差わずか6Mの小水力発電

翌日も雨！現地ガイドの説明を受けながら、歴史記念館と町役場を見学。吹き抜けの明るい庁舎は、町の特産である森林資源をフルに活用した斬新なデザインで、到底町役場とは思えないものです。

豪雨のため、残念ながら日本で最も高地にある風車を見ることはできませんでしたが、四万十川源流のほんの少しの落差を利用した小水力発電やバイオマス発電を見学することができました。昼間は中学校の照明や冷暖房に、夜は町の街路灯などに利用しているとのこと。

脱藩の道で坂本龍馬や吉村虎太郎たちに思いをはせた後、一路高知市へ。ホテル「土佐御苑」での大宴会、部屋での交流へと続きます。そして3日も雨でした。しかし雨の桂浜と高知城もなかなかいいものでした。

みなさんも一度是非「エコのまち・梶原」へ。



「雲の上のホテル」玄関前にて

〈 感想集 〉

小水力なら日本のどこでも

福島第一原発で、放射能の汚染水がタンクから漏れたというニュースが報じられ、「アー、またしても・・・」と思いながら革新懇のみなさんと梶原町を訪ねた今回の旅。

梶原町の小水力発電を見学して、小学生の頃宇治川の水力発電を見た時の驚きと感動の記憶が甦りました。『そう、日本の河川なら至るところで実現できるじゃない』と、思いました。

太陽光発電、風力発電にも力を入れ森林資源の循環利用が、様々な形で取り組まれている様子も見聞きできて、『原発ゼロ』の運動に確信がもてました。本当に今こそ、自然エネルギーの活用を目をむけて着実にすすめることが、私たちの未来を切拓くカギだということを強く感じました。

新しい日本の未来を切拓くことを夢見た志士たちが歩んだ同じ脱藩の道は、生憎の雨に降り込められたものの、まわりを緑の山々に囲まれた静かな町が、私には輝いてみえました。とても楽しく有意義だった旅、ありがとう！

木村由美子さん（損保ジャパン革新懇）

随所に森林資源を活用

このたびは大変お世話になり有難うございました。2日間でもう20年もお付き合いしているような親しみをいただきました。下り階段が苦手な私に高知城の石段ではK様がサポートしてくださり、拳を通じて温かい心が伝わってきました。

私の参加目的のひとつに省エネ・自然エネルギー活用をすすめている梶原町見学があります。出発時に配布された事務局作成の資料集はとても参考になりました。

梶原町は森、水、風、光などの自然エネルギーを活かして2050年には自給率100%を目指しているそうです。町面積の91%を占めている豊かな森林資源の活用が第一番で、水力や風力利用はこれからだなという印象を持ちました。

昭和38年豪雪で孤立した経験から道路網の整備、近年は維新の志士・坂本龍馬脱藩の歴史をテーマに観光の町を前面に押し出しているようです。有名になった「雲の上のホテル」総木造で心癒される空間でした。

国方 勝さん（銀行革新懇）

木のぬくもりを感じた町

宿泊したホテルも木のぬくもりが感じられ町役場も、木材を活かしたモダンな建物で素敵でした。「エコのまち梶原」で、すごいな～と思ったのは小水力発電です。

小さな川のたった六メートルの落差を利用して電気が作れることにびっくり。雨の中の見学もいいものでした。

何よりも大阪損保革新懇の方々が原則的で多彩な活動をされていることに刺激を受けました。愛媛でも大阪人のバイタリティを見習ってがんばります。

芳野美行さん（愛媛金融革新懇）

美しい「うだつの町並み」

私にとっては本当に久しぶりの旅行となりました。高知・梶原の自然エネルギーの取り組みや、あの坂本龍馬の脱藩への道、山内一豊の高知城など見学。

3日間ともしっかりしたガイドさんつきで、いろいろ勉強出来て頭の栄養となりました。特に1日目の「うだつの町」は印象に残るものでした。美しい町並みに江戸、明治、大正、昭和の建物がその時代の特徴を捉えそのまま保存されています。

ずっと雨でしたがこの時、集中豪雨が襲ってきてみんなずぶ濡れになってしまいました。3日間とも傘が離せませんでした。小畑さんの闘いの頑張りを印象付ける忘れられない旅行となりました。

安藤孝子さん（損保ジャパン革新懇）

〈第16回総会のご案内〉

結成15周年記念講演会

安倍政権の行方を見据え

日本の進路を考えよう

講師：富田 宏治 さん

（関西学院大学法学部長）

10月16日(水)PM6:30～

（会場）御堂会館南館2階ホール